

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.28

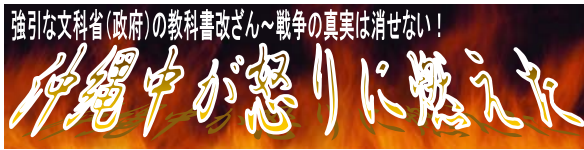
2007.12.6

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227



9・29教科書検定意見撤回を求める県民大会

文部科学省の教科書検定意見で高校歴史教科書から沖縄戦の集団自決(強制集団死)に日本軍が関与し強制した事実を削除する事が明らかになり、その撤回を求めて11万6千人の復帰後空前の大集会になった。その中で、高校生は「おじい、おばあが嘘をついたと言うのですか」と発言し、沖縄タイムスに載った論壇記事によると「思い出すのもつらく苦しいが今のうちに語ろう」「お年よりの思いと真実を知りたい」「正しい教育を子どもたちに」との県民の思いが、“マグマ”となって会場の宜野湾海浜公園に終結したと言う。会場に向かう年老いた人々を見知らぬ人が車に乗せて会場に送り、郡民大会が開かれた八重山では、民間のフェリーが離島からの参加者を無料で送迎するなど。沖縄県民は怒りに燃えた。仲里利信実行委員長は「国は戦後62年は『集団自決』が日本軍による命令や強制、誘導によっておきたと認めながら、なぜ今、否定するのか。検定意見は、審議を隠れみのにした文部科学省の自作自演」と語った。その後、文部科学省の関与が炙り出され、政府の意図が透けてきている。

沖縄の戦時下の真実を取材し、映像で訴えているのが写真家の森住卓さんだ。その森住さんが盛岡の「国民大運動岩手県集会」で講演し、映像で事実を告発した。その一つが宮平春子さん(82)の体験だった。あまりにつらい記憶のため、これまで口を開かなかった春子さんだが、今回の



県民大会に初めてメッセージを寄せた。当時も今も、慶良間諸島の座間味島に住んでいるが、19歳で体験した「『軍の命令だ』と言って4人のわが子を手にかけ“自決”した兄のことは長い間語れなかった」と言う。「この話しをすると目の前に(あのときの)子どもたちの姿が現れて、自分も胸がいっぱいになってしまうのです。かわいい子どもを手にかけた時にはどんな思いであれした(殺した)のかねと思うと涙が出ますよ」と声を詰まらせながら語ってくれたと言う。1944年、特攻艇の秘密基地にするため、日本軍1400人余が上陸した島で、島民は軍にかりだされて自由を失い、とうとう1945年3月23日の米軍の空襲で島の建物はほとんど破壊され、春子さんたちは親族30人で壕を転々と逃げ惑い、最後の産業組合壕に入れなかった春子さんたちが生き延び、入れた兄夫婦と4人の子どもが村長、助役、収入役を含めた15家族・67人とともに集団自決。そのうち26人は小学生以下で、親が手にかけたと言う。兄の盛秀さんが「ここまで育てたのに悔しい。自分が手にかけるなんてごめんね。お父さんも一緒だからね」と子どもたちを抱きしめ大粒の涙をこぼしながら嗚咽していた声が壕にこだましていたという。

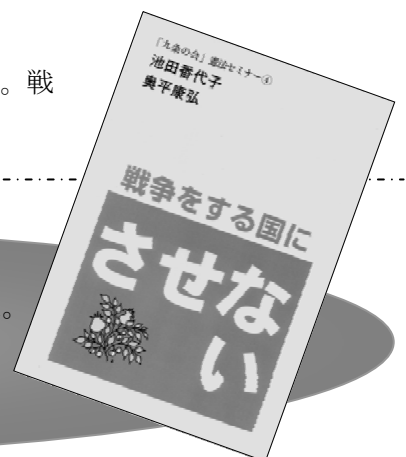
60年以上経っても語れないでいたこんなむごい事実を誰が“嘘だ”と言うのか。戦争の真実を語り継ぎ、次代が再び過ちを犯さないように声を上げよう。

9月29日に「九条の会」主催で行った

「憲法セミナー in 盛岡」のブックレットができました。

池田香代子さん、奥平康弘先生の講演の他、質問への回答なども載っています。

ほしい方は事務局までお知らせください。(1冊300円)



講演とパネルディスカッション

「平和憲法・9条を守る盛岡西地区の会」

10月28日(日)1周年記念行事として「つたえよう 平和の心」を73名の参加で開催しました。基調講演では「平和憲法・9条の大切さについて」吉田六太郎先生が講演。「戦争当時の『師範学校』は、戦争に行つて死ぬ模範を子どもたちに教える教師を育てた『死範学校』。そこでの教え通りに子どもたちを戦場に送り子どもたちはだれも帰つてこなかった。子どもたちを二度と戦場に送ることがあってはならない」と力強く話されました。パネルディスカッションでは、岩手大学や盛岡大学の学生さん3人もパネリストとして参加し、「今年ヒロシマ大会に参加し平和について考えさせられた。1人では活動できないがみんなといっしょに広がりをつくりたい。9条についても勉強したい」と発言。会場からも発言があり活発な会となりました。

盛岡西地区の会

＝ 地域の会ニュース ＝

「九条の会」全国交流会

に参加して

「九条の会」の第2回全国交流集会在、11月24日、東京の日本教育会館で開催され、17歳から95歳までの1,020人が参加して多彩な運動を交流しました。また今回の交流集会時点で「九条の会」の総数は6,801に広がったことが報告されました。よびかけ人から、作家の大江健三郎さんら5人があいさつ。評論家の加藤周一さんは、「安倍内閣から福田内閣に代わり、改憲勢力の対応がより手ごわくなった」と述べ、解釈改憲を進めて憲法を空虚にして、ないのと同じ状況にしようという動きが出ている中で、その理屈を打ち破る必要があるとして、運動が長丁場になることを意識し、日常生活のあらゆる問題を通じて考えていく必要があると今後の運動についてよびかけられました。

分散会では地道に活動を持続し、運動を広げている各地の経験が活発に交流され、ニュースの発行、講演会、学習会の活動などユニークで幅広い活動の経験を学ぶことができました。(都南9条の会 根田弘昭さん談)

映画「日本の青空」花巻・東和・八幡平・千厩町 上映会無事終了！

11月17日～24日まで4市町村6会場9回の上映会が行われ770人が鑑賞しました。各実行委員会のみなさんおつかれさまでした。これまでの上映会への鑑賞は、これで3,511人となりました。

12月は北上上映会ですが、苦戦しているとのこと。北上にお友たちやお知り合いがいる方は、「ぜひ観てみて！」と紹介してください。お願いします。

これからの上映予定

開催日	場所	上映開始時間
12月14日(金)	北上市さくらホール・中ホール	①14:00～ ②18:00～
1月11日(金)	北上市さくらホール・中ホール	①14:00～ ②18:00～
1月20日(日)	宮古市民文化会館・中ホール	午前・午後・夜の3回を予定
2月3日(日)	二戸市民文化会館・大ホール	①14:00～ ②18:30～
3月28日(金)	奥州市Zホール・中ホール	①14:00～ ②18:30～
3月29日(土)	奥州市Zホール・中ホール	①14:00～ ②18:30～

奥州市でも日程決定!

*前号で、北上市の1月の上映日を11日としていましたが、18日の間違いでした。訂正いたします。

次回の署名行動

12月9日 ホットライン肴町入り口にて12:00より行います。

場所は、ホットライン肴町入り口です。いつもと違う場所ですので、ご注意ください。なお、1月・2月の宣伝はお休みします。